

○今月の病害虫発生状況○

- ・ **灰色かび病**の発生は多いです。
- ・ **アブラムシ類**、**ハダニ類**、**アザミウマ類**の発生は平年並です。

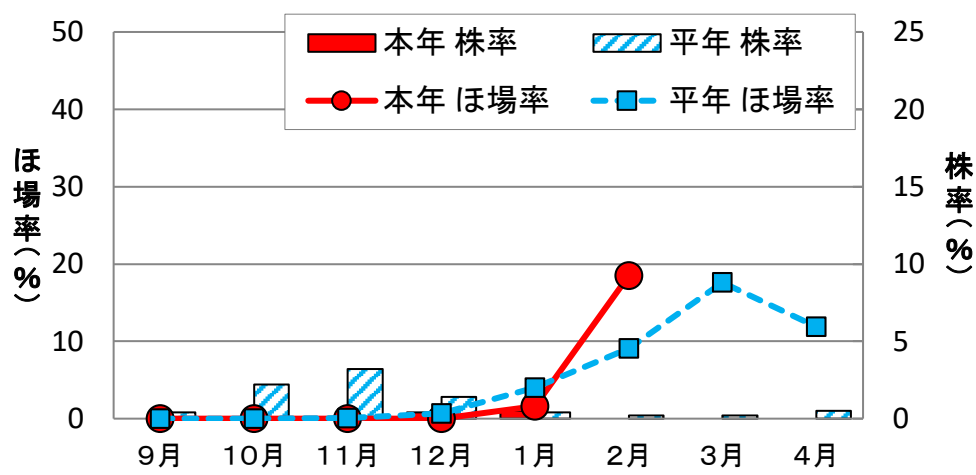


図1 灰色かび病発生ほ場率・株率

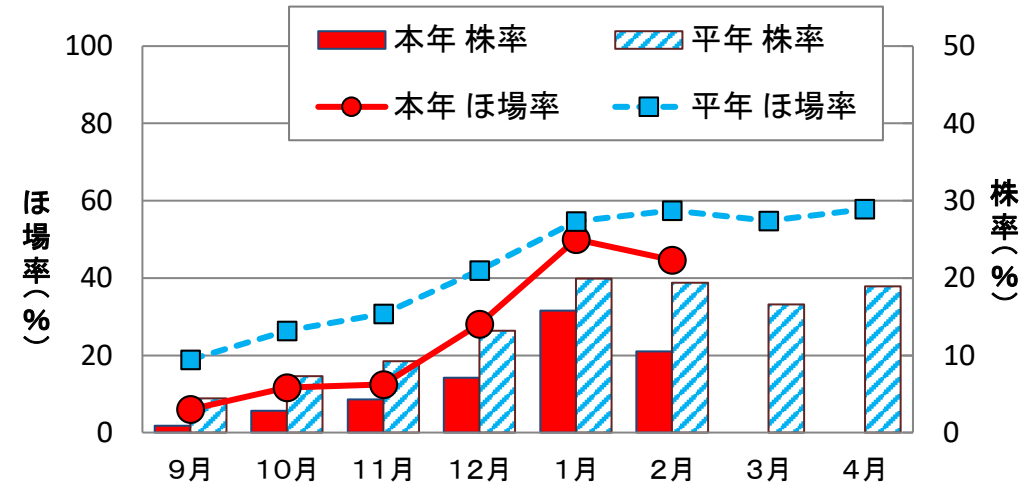


図2 ハダニ類発生ほ場率・株率

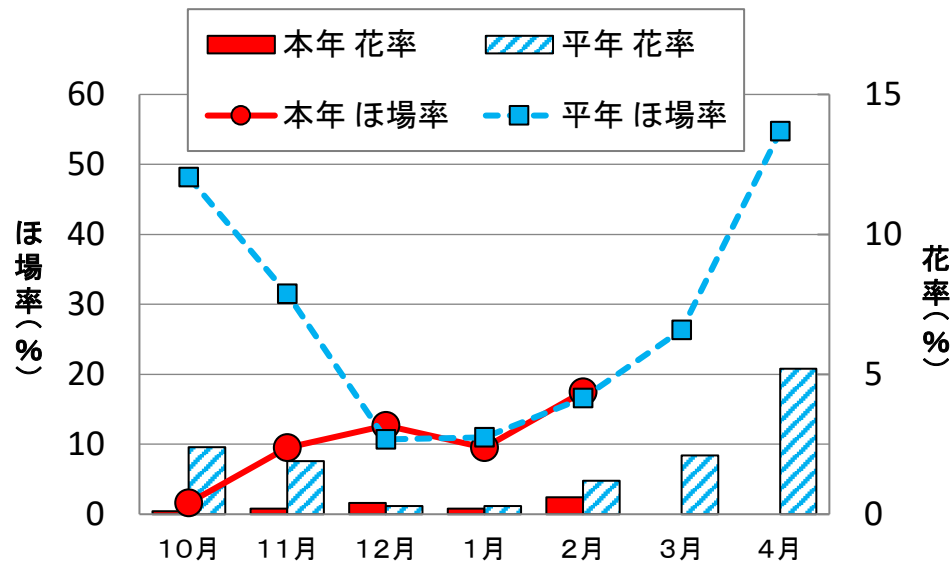


図3 アザミウマ類(花)発生ほ場率・花率

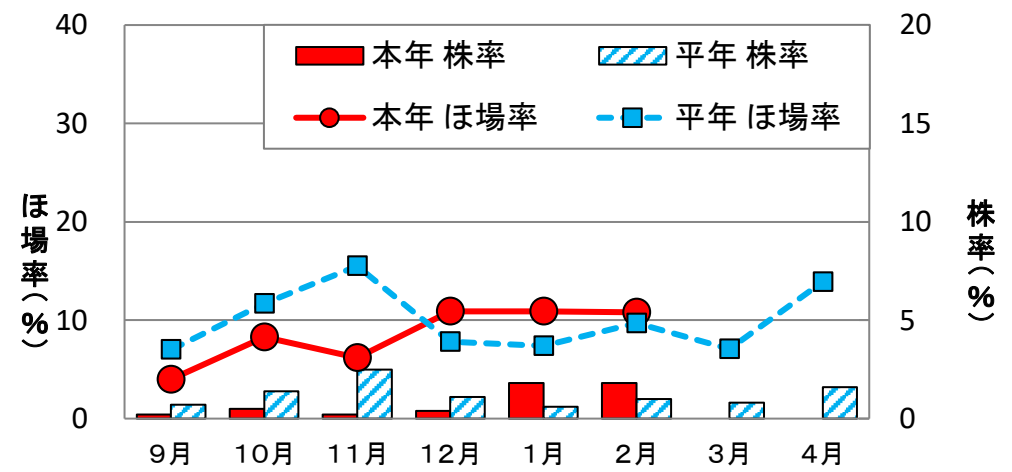


図4 アブラムシ類発生ほ場率・株率

○今月の技術情報 (技術指導班) ○ (2月)

・ 1月以降、アブラムシ類やハダニ類等の害虫の発生が見られます。発生初期の防除が有効ですのでハウス内をよく観察しましょう。

・ 向こう1か月の天候の見通しは、気温はかなり高い、降水量は平年並、日照時間は少ない見込みとなっています。今後、ハウス内の湿度が高くなると、灰色かび病や菌核病等の病害の発生が懸念されます。ハウス内の適正な温湿度管理により、病害の発生しにくい環境作りに努めましょう。

・ これからの時期は、日射も強まるため、温度の上昇による果実の傷みなど、品質低下にも注意が必要です。換気方法や果実の品温が低いときに収穫を終わらせるなど、品質重視の管理を心がけましょう。



写真1 イチゴ灰色かび病の被害果



写真2 花に寄生するヒラズハナアザミウマ